

文化

bunka@ryukyushimpo.co.jp
TEL 098-865-5162

市民が抗議する中、着岸した海自の揚陸艦「しもきた」
=2021年11月14日、宮古島の平良港(西村仁美撮影)



2019年、宮古島に陸腹から次々に出てきたのは自のミサイル基地が作られ、警備部隊がやって来た。100台以上の軍用車両と共に沖繩戦後初めて武装した部隊が上陸して来た。私は港で立ちはだかつて抵抗したが、実力排除され陸揚げされた。20年にはミサイル部隊がミサイル発射車両と共に配備された。21年11月14日、早期の平良港に着岸した大きな海自の揚陸艦「しもきた」の横備が調えられた。

ノーモア沖縄戦シンポに寄せて

清水 早子



しみず・はやこ 1995年より宮古島在住。島の子もたちと向き合う教育産業に就きながら、島の軍事化反対運動を続け四半世紀。「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」共同代表。

この弾薬搬入を境に、現在まで日米の共同軍事訓練が切れ間なく続いている。21年11月にかけて陸自10万人総出の30年ぶりの実働訓練では北海道・東北から九州・沖縄へ鉄道、民間運輸を使って防衛装備品が運搬された。米軍5800人も

島の日常が迷彩色に 「戦争作り出す」法整備も

外で起った。開設以来3年間、駐屯地の門衛は、銃を携行していなかったのに、22年4月から小銃を持つようになった。民間人も出入りする正門で引き金を指をかけた所持っている。なぜ、銃を持つようになったのか尋ねても応えな

門衛が銃携行

22年2月に那覇軍港では沖縄県の中要請を無視して海兵隊は民間のマシヨンなどのある市街地にオスプレイを離着陸させ、銃を携行し夜間訓練を強行し

防衛予算6兆円

防衛予算6兆円 軍事的な防衛戦略は新たな段階に入っている。防衛予算は6兆円を超え、さら

日米軍事一体化

日米軍事一体化 軍拡と同時に「戦争作り出す」法整備も進められている。6月に成立した経済安保法では官産学で軍事優先の体制が強化される。

「沖縄のミサイル戦場化を許さない島々シンポジウム」(ノーモア沖縄戦 命どう宝の会)主催。12月12日午後1時半から、沖縄市民会館で開かれる。軍事ジャーナリストの小西誠氏が「中国へのミサイル攻撃基地と化す沖縄列島」と題して基調講演する。同会の山城博治共同代表らが発言する。入場無料。問い合わせは同会、電話090(2716)6686(新垣)。